

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	157.53
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	157.63	1.0801	170.18	1.2697	0.6614
SYD-NY High	157.68	1.0845	170.30	1.2747	0.6647
SYD-NY Low	156.36	1.0789	169.08	1.2681	0.6591
NY 5:00 PM	156.82	1.0832	169.87	1.2732	0.6633
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,111.48	▲ 330.06	日本2年債	0.3800%	0.0100%
NASDAQ	16,737.08	▲ 183.50	日本10年債	1.0600%	▲0.0200%
S&P	5,235.48	▲ 31.47	米国2年債	4.9259%	▲0.0478%
日経平均	38,054.13	▲ 502.74	米国5年債	4.5671%	▲0.0664%
TOPIX	2,726.20	▲ 15.42	米国10年債	4.5490%	▲0.0657%
シカゴ日経先物	38,235.00	▲ 90.00	独10年債	2.6535%	▲0.0285%
ロンドンFT	8,231.05	47.98	英10年債	4.3410%	▲0.0625%
DAX	18,496.79	23.50	豪10年債	4.4650%	0.0440%
ハンセン指数	18,230.19	▲ 246.82	USDJPY 1M Vol	8.43%	▲0.17%
上海総合	3,091.68	▲ 19.34	USDJPY 3M Vol	8.79%	▲0.11%
NY金	2,366.50	2.40	USDJPY 6M Vol	9.29%	▲0.12%
WTI	77.91	▲ 1.32	USDJPY 1M 25RR	▲1.18%	Yen Call Over
CRB指数	293.00	▲ 4.64	EURJPY 3M Vol	8.21%	▲0.10%
ドルインデックス	104.72	▲ 0.38	EURJPY 6M Vol	8.78%	▲0.12%

東京	東京時間ドル円は157.63レベルでオープン。仲値にかけてドル売り優勢の展開となり、その後も軟調に推移し、15時過ぎには156.79まで下落した。日本株の大幅下落を背景としたリスクオフ的なクロス円の下落も、ドル円相場の下押しとなった。結局、156.84レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、156.84レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ156.54まで売られる。切り返すと157.11まで買い戻されるが結局156.73レベルでNYに渡った。クロス円も下落し、対ユーロと対ポンドでそれぞれ170円台と200円台を数セッションぶりに下回った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は157円台後半でスタート。アジア株の軟調な展開や、米金利の低下を受け、ドル円は軟調な値動きとなり、156.73レベルでNYオープン。朝方に発表された米第1四半期GDP(改定値)が前回の1.6%から1.3%に下方修正された事や、構成項目の個人消費も前回より低下した結果を受け、ドル売りが先行し、156.36まで値を下げる。その後は売り一巡となり、156.60付近まで戻す。午後はウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁が「現行の金融政策が景気を抑制している証拠は十分ある」との認識を示すも、ドル円は反応薄。終盤にかけては156.87まで反発し、156.82レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台前半でスタート。じり安での推移が続き、1.0789まで下落するも場面もあったが、その後欧州株高の展開に買い戻しが入り、1.0818レベルでNYオープン。朝方は冴えない米経済指標の結果を背景に、米金利が低下する動きを支えとし、1.0845まで上昇する。午後は買い一巡となり、小幅反落し、1.0832レベルでクロス。

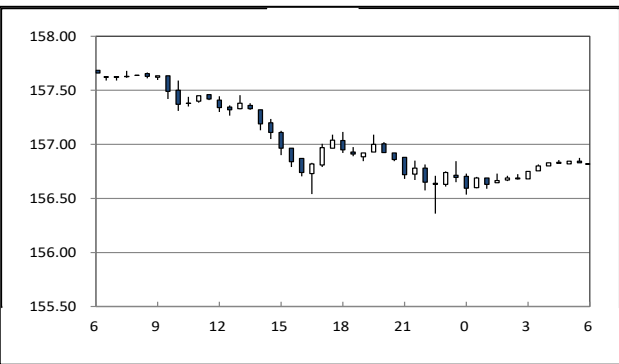
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月30日	18:00	欧 消費者信頼感・確報	5月 -14.3	-
	18:00	欧 サービス業信頼感指数	5月 6.5	6.5
	18:00	欧 鉱工業信頼感指数	5月 -9.9	-9.6
	18:00	欧 失業率	4月 6.4%	6.5%
	21:30	米 GDP(年率/前期比)・改定値	1Q 1.3%	1.3%
	21:30	米 個人消費・改定値	1Q 2.0%	2.2%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	25-May 219k	217k
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	4月 0.2%	0.1%
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	4月 -7.7%	-1.0%
5月31日	01:05	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	「現行の金融政策が景気を抑制している証拠は十分ある」	

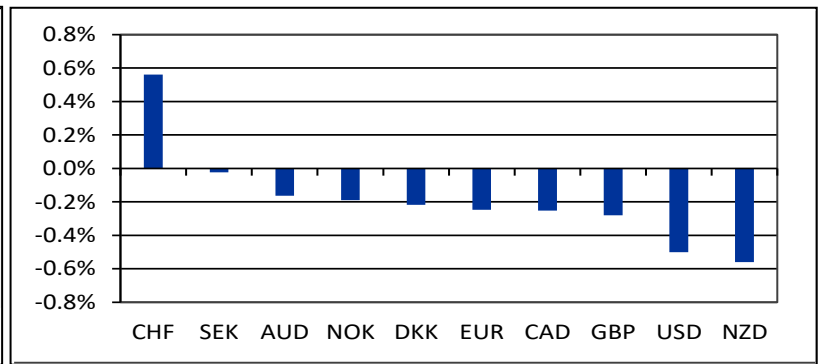
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月31日	10:30	中 製造業PMI	5月 50.5	50.4
	10:30	中 非製造業PMI	5月 51.5	51.2
	15:00	独 小売売上高(前月比)	4月 -0.3%	2.3%
	15:45	仏 CPI(前月比/前年比)・速報	5月 0.1%/2.4%	0.5%/2.2%
	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・速報	5月 2.5%/0.2%	2.4%/0.6%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	4月 0.2%/2.8%	0.3%/2.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	156.30-158.00	1.0790-1.0880	169.00-171.00

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は下落。東京時間から株安の流れに伴う円買い優勢の展開となりドル円は157円を割り込むと、NY時間に発表された米Q1GDP改定値および個人消費等の米経済指標が軒並み弱い結果となったことから米金利低下ドル安の流れとなり、一時156.38まで下落となった。
本日はFED注目の4月個人消費支出(PCE)デフレータの発表を控えているなか、月末の実需フローを中心に値動きする展開を想定。ただし、昨日のドル円の下落タイミングでは一定の押し目買いも入っており、PCEデフレータの結果が予想以上に弱い結果とならない限り、引き続きドル高円安の展開となることを予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。